

企業訪問 資源循環レポート

(株) 明輝クリーナー

株式会社明輝クリーナー

火之迦具土大神
三河へ舞い降り
空に大地に新たな命を

MEIKI
CLEANER



株式会社明輝クリーナー

■代表者／代表取締役 小島 孝信

■所在地／愛知県豊橋市若松町字中山101の34

TEL 0532-25-1026 FAX 0532-25-1227

昭和52年に法人設立。翌年、愛知県産業廃棄物収集運搬業取得後、次々と近隣地域の産業廃棄物・一般廃棄物の許可を取得。その後多数の施設の拡充を図り平成21年カーボンオフセットによるCO₂削減プロジェクトを発動、系列会社株式会社ドリームフィールド（農業生産法人）を設立。

今回、完成した焼却施設について、込められた想いや役割、可能性について社長室主任 橋本英文氏にお話を伺いました。

■新焼却施設 本格稼働

産業廃棄物焼却発電リサイクルプラントが、令和3年2月から本格稼働を開始いたしました。

旧施設では、9時間稼働の日量18tの処理能力でしたが、新施設では24時間稼働の120tとなりました。

焼却施設であり、発電所機能が追加されました。

発電量は約5千世帯分に当たる1,950kW/h、CO₂削減効果は年間6,400t、石油代替効果は1,000kL、東海4県を中心に約1万事業所から受け入れ可能。また、環境省の「二酸化炭素排出抑制対策事業」に採択された施設となります。

創業以来培ってきた廃棄物事業の技術と最新の技術を融合させて、SDGs(持続可能な開発目標)、カーボンリサイクル・熱エネルギー活用などに重点をおいています。

取り扱い品目は、これまで扱ってきた汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、感染性廃棄物に加え、廃酸、廃アルカリ、動物系固形不要物などにも対応できるようにした。また、がれき類、ガラスくず、金属くずなどの不燃物を許可品目に加え、15品目に対応可能です。



火入れ式

試運転

一昨年の10月に発生した台風19号は、令和元年東日本台風と名付けられ、静岡、関東、甲信越、東北地方へと甚大な被害をもたらしました。

私たちは千曲川が氾濫した長野県千曲市の災害復興支援活動に約3か月間に渡って現地へ入りました。これは我が国において、自然と共に生きるということなのだと思います。この地域にも、大きな地震がいつ来てもおかしくない予測が立てられており、復興支援は、いつか来る私たち自身のためでもあります。

この施設は消費電力以上の電力を発電することができます。そのため、停電が起きたとしてもこの施設では電気を使用することができます。また、熱利用によりお風呂などの温水利用も可能となり、被災時には避難場所としての機能を発揮することができます。今後は実際に受入を可能とするために、人が集まれる場所を確保するなどの施設整備が今後の課題と考えています。

■焼却施設の修繕技術

焼却施設1号機は20年以上の稼働を続けてきました。それだけ稼働し続けてこられたのは、修繕メンテナンス部隊の存在が大きいです。

当初はメーカーに委ねたメンテナンスを行っていましたが、具合の状況を理解するために「小さな故障は自分たちで直そう。」をモットーに、メンテナンスの経験を積んでいくようになりました。次第に大きな故障もメーカーと共に修繕するようになり、10年が経過しました。そのスキルは蓄積され、これまでも自社以外の焼却施設の修繕業務を10件以上対応してきた実績があり、お困りの際には修繕させていただきます。



焼却施設は神話の火の神と祀られる「カグツチ」と命名。

■自然の恵み 地域との共生

地域との調和を目指した「農業生産法人 ドリームフィールド」は、農業を通じて楽しく学べる野菜の収穫体験を実施しています。

昨年は社員の家族と共にじゃがいも掘り体験と食事を通して食育を行いました。

愛知の土地は私たちが思っている以上に恵まれた土地であり、農業生産に適した気候や土地であります。私たちは、食したものできており、自然の恵みをいただくことで地元の自然環境の大切さを実感し、地球環境を守っていく意識を育んでいきたいと考えています。

他にも小中学校へ出向き環境学習の出前授業を開催し、子どもたちからお手紙をいただくなど将来に種を蒔く活動も続けています。

これら一連の取り組みは、地元で収集される廃棄物がどのような過程を経て資源としてリサイクルされていくのか、見て、触って、食べて、食物連鎖を体験し、これからの資源循環の在り方を子どもの目線に合わせた環境教育の機会を実践しています。

この度、産声を上げた「カグツチ」は、地域の人々の生活を支え育てていただけるよう、SDGsの2030年のゴール達成に向けて、社員一丸となって業務に取り組んでいます。(橋本主任談)

※ 緊急事態宣言下ということもあり、リモートにての取材にご協力いただきありがとうございました。(2/19)